

2019年度の政務活動費使用状況について

2020年5月18日 日本共産党品川区議団

1. 政務活動費の概要

日本共産党品川区議団は2019年度の政務活動費（2019年5月～2020年3月）について総額1,254万円の支給を受け、1,227万7,741円を使用し残高26万2,259円を返却しました。支出の概要は以下の通りです。

科目	支出額	割合	科目	支出額	割合
①調査研究費	48,811円	0.39%	⑤広報活動費	4,539,004円	36.2%
②研修費	602,922円	4.81%	⑥事務費	2,047,407円	16.33%
③会議費	45,108円	0.36%	⑦人件費	4,395,128円	35.0%
④資料費	599,361円	4.78%			

2. 政務活動費の各支出別における主な内容

- ①調査研究費は、羽田新ルートやコミュニティーバス、国保、介護、教育、消費税、道路などについて、区民要望を把握するために各区議が実施した住民アンケートの返信郵便の受取人払い料金、他区の庁舎建替え事例の調査のための交通費、名古屋市の都市計画道路廃止事例の調査費用(往復交通費)など。
- ②研修費は、都市再開発問題の交流会参加費及び交通費、特定整備路線問題の集会参加費及び交通費、障害者問題の全国研究会の参加費及び交通費、地方議員教育問題セミナーへの参加費及び交通費、区政分析や議会質問及び区政報告の作成などのために実施した区議団合宿や、区議団主催の再開発問題学習会の会場費、講師代、交通費等の支払。
- ③会議費は、区政報告会や団体懇談会の会場費及び手話通訳、要約筆記に要した経費、会場までの交通費。
- ④資料費は、区議控室のコピーカウンター料や各種新聞・書籍などの支払い、購入費、情報公開閲覧・写しの交付手数料など。
- ⑤広報活動費は、議会活動を区民に報告し、区民意見の把握のために発行した日本共産党品川区議会報告や壁新聞、各区議の区政報告ニュース、議会傍聴の案内における印刷代や郵送経費等。
- ⑥事務費は、区議控室のコピー機などのリース料、区議団ホームページの管理料、電話及びインターネットの通信料、団管理のパソコン購入代金、その他、事務用品購入のための経費。
- ⑦人件費は、共産党品川区議団の政務活動補助として雇用している事務局員1名の給与、交通費及び社会保険料事業主負担分等。

3. 政務活動費の主な特徴

政務活動費の使用にあたっては、運用指針を厳格に順守すると共に、常に住民目線からのチェックや経費節約に努めながら、調査・研究活動、広報・活動費及び事務局の人件費、区議控室の事務費などの政務活動にあて、多様な住民要望の把握や分析、区民への報告等を行い、議会質問や要望活動など議会活動に活かしてきました。これらの議会のチェック機能を通して、品川区政に「住民の福祉の増進を図る」との基本的役割を果たさせるため、力を注ぎました。

2019年度は、4月の区議選を経た新しい議会構成の下、例年行っている各団体との懇談はじめ、引き続き住民から寄せられた切実な要望を区議会に取り上げるとともに、他会派・議員との共同を広げました。年度末に強行された羽田新飛行ルートは引き続き区政上の大問題であり党派を超えた共同の中心課題ですが、それ以外にも庁舎建替え問題では、情報公開で入手した黒塗りの検討報告書の情報共有、世田谷区の庁舎建替えの視察など共同で取り組みました。

また今年度は、名古屋市の都市計画道路廃止事例の調査、再開発問題の学習会の開催、障害者問題の全国研究会やフィンランドの教育など各種研修会・学習会への参加も行いました。引き続き、道路や開発、23区最低水準の福祉など、他の重要課題でも区議団自身の認識を深めつつ、共同を広げる議会活動にも力を入れていきたいと思えます。